



29年度施政方針の要旨

魅力ある交野のために

2月27日(月)、29年第1回議会定例会が開会され、冒頭、黒田市長が新年度に臨む施政方針を表明しました。

すべての世代が交野に住みたい・住み続けたいと思っていただけよう、まちの安全・安心の確保を進め、交野の魅力を高めていくための施政方針を要旨をお伝えします。

問い合わせ 政策企画課(TEL 092・0121)

施政方針の思い

国内の景気状況について、政府の調査によると、着実に持ち直してきているとされていますが、少子高齢化や人口減少は確実に進行しており、多くの人が社会保障などに対し

ても、将来の不安を感じておられます。政府の掲げる「億総活躍社会」などの、政策の具現化について、施策や法整備の議論を注視してまいります。

少子高齢化・人口減少という社会潮流は本市も例外ではなく、27年の国勢調査で本市人口は、前回調査から1251人の減少となりました。1月末に総務省が発表した、28年住民基本台帳人口移動報告では、本市からの転出数が転入数を若干上回っているものの、北河内7市において、最も良好な結果であり、特に30代の転入が多いという状況です。このような流れがより確かなものとなるよう、市長戦略の政策を着実に進めてまいります。

また、昨年も全国各地で災



害が発生しました。市民の命や財産を守るために、29年度から、市長直轄の「危機管理

室」を新たに設置し、災害時における情報収集や指揮命令系統の迅速化を図ります。また、平時においても防災計画などの運用体制の整備や、行政情報のセキュリティ強化を含め、安全・安心に関わる危機管理の取り組みをさらに進めてまいります。

全庁的に取り組む喫緊の課題の一つとしては、「公共施設

等総合管理計画」が挙げられます。今後は、個別施設のあり方や機能の集約化・再配置について、市民とのワークショップなどを行いながら検討を進め、具体的な方向性を示してまいります。

こうしたさまざまな行政課題に対応するためには、官民連携、行政間の連携など多様な担い手の資源を活用していかなければなりません。地域や民間団体との積極的な連携・協働のもと、施策推進を図ってまいります。

政策実現に向けての財政については、29年度には将来の財政負担に関する指標を「財政規律ガイドライン」として定め、併せて財源確保の精査対策を「事業財源確保プラン」としてまとめ、中長期の見通しをさらに具体的に示していきます。

予算編成

29年度の予算については、歳入の根幹をなす市税収入や地方交付税は一定確保できているものの、社会保障関連費

用の増加などの構造的要因から、厳しい予算編成となりました。

今後、公共施設の老朽化対策などに多くの財源が必要となることから、将来への備えをしつつも、限られた財源で本市の魅力を高め、課題を解消するための配分となるよう編成しました。

平成29年度当初予算

一般会計	233億5,235万3千円
国民健康保険特別会計	102億1,344万8千円
下水道事業特別会計	16億1,769万7千円
介護保険特別会計	56億2,885万2千円
公共用地先行取得事業特別会計	5億2,899万1千円
後期高齢者医療特別会計	12億1,585万円
水道事業会計	24億8,403万4千円
総額	450億4,122万5千円

各部などの重点的施策

危機管理室

- ◆災害対策・情報管理 地震、風水害などの災害の際に、情報収集や関係所管の総合調整を担う新たな組織です。また、重要な情報データの管理についても、さらなるセキュリティーの向上に努めます。
- ◆防犯カメラ設置の拡充 市内の公園などに防犯カメラを設置し、犯罪抑止力および地域防犯力の向上に努めます。



総務部

- ◆マイナンバー制度の運用 7月から本格的な情報連携やマイナポータルの運用が開始されることから、適切な個人情報保護を含め、円滑かつ安定的な運用に努めます。
- ◆産学官連携による産業振興 地域資源活用促進法に基づく「ふるさと名物応援宣言」により、交野・枚方両市の共通資源である「七夕、や`天の川、を生かした地元企業の商品開発の促進に努めます。



企画財政部

- ◆政策・財政のコントロール 持続可能な財政運営を維持していくため、財政規律や財源確保に向けた方策を示す「財政規律ガイドライン」および「事業財源確保プラン」の策定に取り組めます。
- ◆シティプロモーション 市の魅力発信事業として、市の魅力を整理した上で、さまざまな機会を捉えて情報発信に取り組めます。

市民部

- ◆オリジナル婚姻・出生届出用紙 広域連携の一環として、七夕のある7月をめぐり枚方市と共同で、市キャラクターなどを使ったオリジナル用紙を作成し、希望者に提供します。
- ◆国民健康保険制度の広域化対応 30年度から、国民健康保険制度が都道府県単位へ広域化されることから、円滑な制度移行となるよう取り組めます。

健やか部

- ◆妊産婦歯科健康診査事業 妊娠・出産期の健康管理の充実を図るため、妊産婦の口腔保健状況が、妊産婦自身および生まれてくる子どもに重要な関わりがあることから、新たに取り組みます。
- ◆子ども・子育て支援 地域子育て支援センターで、子育て家庭などの多様なニーズに対して、専任職員が包括的な支援を行う「利用者支援事業」を新たに開始します。
- ◆地域子育て支援の充実 第二中学校区における地域子育て支援拠点事業の実施場所を、第1児童センターに変更するとともに、実施日を週3日から5日に拡大し、支援の充実を図ります。
- ◆小規模保育施設への支援 待機児童解消に向け



- て、小規模保育施設についても他の保育施設と同様に、延長保育事業などの取り組みに対して、新たに支援します。
- ◆幼保一元化の充実 公立幼稚園を「幼保連携型認定こども園」に移行し、保育部分の定員拡大と幼稚園部分の3歳児受け入れを開始します。
- ◆ドクターカー事業 救急医療体制を充実させるため、枚方寝屋川消防組合が実施する「ドクターカー事業」に参画し、患者の救命率や社会復帰率の向上を図ります。
- ◆健康ポイント制度の拡充 対象者を40歳以上から20歳以上に引き下げ、市民の主体的な健康づくりをさらに進めます。



福祉部

- ◆補聴器交付事業 身体障がい者手帳の交付対象とならない軽度の難聴児に対し、日常生活の適応を促進するため、新たに実施します。
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業 4月から全国的に展開されるこの事業の施行に伴い、新たなサービス体系の円滑な実施に努めます。

環境部

- ◆新ごみ処理施設の稼働 10月から新施設の試運転に伴う、ごみの搬入が開始することに併せ、可燃粗大ごみと普通ごみの排出区分を変更するなど、市民サービスの充実を図ります。
- ◆粗大ごみの一部有料化 ごみの減量化・資源化の推進、最終処分場の負担軽減およびごみ処理に要する費用負担の公平性の確保を目的に、粗大ごみの一部有料化を実施します。

都市計画部

- ◆**永住魅力のあるまちづくり** 星田駅北エリアと星田駅周辺のまちづくりについて、都市計画決定に向けた手続きを進め、技術的・財政的支援内容の精査を行います。
- ◆**耐震化の促進** 木造住宅耐震除却補助を創設し、さらなる耐震化の促進に努めます。

都市整備部

- ◆**健康寿命を延ばすまちづくり** 高齢化社会を見据え、関係部署とタイアップを図り、遊歩道の整備や健康遊具の設置を検討・推進していきます。
- ◆**道路照明灯LED化** 防犯灯のLED化の整備が、おおむね市内全域で完了したことから、環境負荷の軽減や安全・安心のまちづくりを目ざすため、新たに取り組みます。



教育総務室・学校規模適正化室

- ◆**教育委員会の総括** 学校教育ビジョンや生涯学習基本計画に基づき、具体的な教育施策の実現に努めます。
- ◆**学校規模の適正化** 学校施設の適正配置に向けて、「学校規模適正化基本計画」および「学校施設等管理計画」を策定します。

学校教育部

- ◆**小中一貫教育** 小中学校間での連携した指導により、義務教育終了までの「学びの連続性、の保障と「生きる力を養い多様性に富んだ人材の育成、を図ります。
- ◆**35人以下学級の拡大** 小学校3～5年生までだった対象を、6年生までに拡大します。
- ◆**トイレの洋式化** 市内小中学校全校での、トイレ洋式便器への置き換え(おおむね半分以上)を完了します。

生涯学習推進部

- ◆**生涯学習事業の情報提供** 市や関係機関が実施する生涯学習事業を網羅した生涯学習マップを作成するなど、市民への情報提供に努めます(秋以降実施予定)。
- ◆**まちの図書館化事業などの充実** 「まちの図書館」では読書棚の設置箇所を増設し、また、図書施設では、利用者の拡大に向け「ビジネス支援コーナー」の設置や「ヤングアダルトコーナー」の充実を図ります。
- ◆**第1児童センターの充実** 「地域子育て支援拠点事業」の実施場所となることから、改修工事により施設の充実を図るとともに、センター内図書室を児童書や子育て関連図書に特化させます。



消防本部

- ◆**応急手当普及啓発活動の推進** 市民・市内在勤者、特に小中学校の児童・生徒を対象に、AEDを使用した救命講習会などの出前講座を積極的に開催していきます。
- ◆**広域災害対策** 地元消防団と協力し、地域との連携を強化するとともに、危機管理室との連携も図り、市民の安全・安心の向上を目ざします。



水道局

- ◆**第6次拡張事業** 私市浄水場跡地の「浄水池」および「送水ポンプ棟」は、自己水8、企業団水2の割合での「よりおいしい水」の給水に向け、施工中です。
- ◆**新規給水開始** 新ごみ処理施設の稼働に合わせ、同施設および磐船地区への新規給水を開始します。

市長戦略を具体的に実施

昨年、任期中の重点的取り組みを「市長戦略」として示し、具体的に各施策・事業をスタートさせました。任期中にすべての課題が解決するわけではありませんが、未来の交野を創造していくために、確実に道筋をつける29年度の取り組みと組織体制となっています。

市長戦略で掲げる「住みたい、住み続けたいまちづくり」「支え合う健康のまちづくり」「未来へつなぐ環境づくり」「みんなで安全安心なまちづくり」の4つの政策の柱を着実に進め、具体的な成果に結び付けていくため、29年度も組織を挙げて全力で取り組んでまいります。

市民のみなさんの安全・安心な暮らしを守るため、将来の財政負担の見直しをしっかりと持ち、社会の変化にもアンテナを張り、選択と集中に基づく持続可能な行財政運営を行ってまいります。

交野市長 黒田 実